

課題概要説明シート テーマ②

令和5年度 CO+CREATION KOBE Project【WISH型】

テーマ	大学施設を通じた地域交流
担当部署	企画調整局産学連携推進課
課題を抱える事業の概要	神戸市には23の大学・短期大学があり、約7万人の学生が集っている。大学連携は、大学と行政はもちろん、大学と大学・企業との産官学連携を通じて、まちづくりや地域経済の活性化につなげていくことを目的にしている。例えば、神戸市の地域課題、行政課題の解決等を目的として若手研究者の研究活動経費を補助する事業や、学生生活の利便性向上につながるデジタルプラットフォームの構築を進めている。
解決したい課題の概要	神戸市は全国でも有数の大学都市であるが、18歳人口は約30年で約40%減少しており、大学進学時の流出も京都・大阪と比べ多くなっている。また、市内大学生の市内企業への就職状況は約17%（H28）という低い状況もある。 学生は、家と大学とアルバイト先の往復が多く、コロナ禍だったことも影響し地域に出て交流を行う機会は少なくなった。また、地域との交流のきっかけがなくなったことにより、神戸の魅力を知ることや愛着形成が難しい状況にある。一方で、地域住民は、大学でどのような教育や研究が行われているかを知る機会は少なく、学生との交流も生み出せておらず、大学が立地していることのメリットや意義を知る機会はないに等しい現状がある。 そこで、大学施設を活用した地域交流事業を行い、開かれた大学施設となることで、学生と地域との交流の場を創設し、大学施設開放のメリットを感じてもらうとともに、地域を活性化させたい。
市が希望する提案の例	大学は夏季休暇など、学生が少なく閑散とする時期があるため、例えばグラウンドや図書館、食堂など地域住民も利用可能な大学施設を活かした地域交流につながる提案を期待する。
事業実施にあたっての留意点等	大学施設を活用した地域交流事業であるため、採択された場合を想定して事前に大学施設を利用することについて大学側に了承を得ておくこと。
参考情報 (関連ホームページや市の計画等)	神戸市HP(神戸市と大学等との連携の取り組み) https://www.city.kobe.lg.jp/a05822/shise/kekaku/kikakuchosekyoku/college/index.html